

執筆者	表題	号数	頁	内容	
イ	猪飼隆明	熊本俘虜収容所記事	1	69	大正3年青島陥落によるドイツ人俘虜収容所の記録
	池上尊義	寺社例帳	7	137	県立図書館・熊本大学図書館等所蔵 「堂舎間取之事寛文八年二月従 公儀御定之御書出写」(翻刻・冒頭)
	入江照雄	熊本市の湧水にすむ小動物	3	67	1)はじめに 2)熊本市の主な湧水と所在地 3)湧水域の小動物目録 4)注目すべき動物 5)まとめ
	入江照雄	河内川の環境を調べる	8	1	1)はじめに 2)調査河川の概要 3)調査月日と調査地点 4)調査の方法 5)調査結果 6)水質判定 7)まとめ 8)主な参考文献
	岩本政教	熊本低地平野における被圧地下水とその利用	7	21	1)1958年調査地域の概観 2)調査方法 3)調査結果と考察(計測地点・水温・深さ・水頭位・湧出量・PH・ガスと潮汐の影響) 被圧地下水調査結果表(抜粋)
ウ	薄田千穂	熊本市における方面委員制度の成立について	13	177	1)はじめに 2)熊本市の窮民救助 3)方面委員制度の成立 4)方面委員の活動 5)おわりに 熊本市社会事業年表
オ	太田幸博	熊本市内に所在する中世城跡の諸問題	13	141	1)分類 2)調査の手順と遺稿の見分け方 3)まとめ
	大塚正文	画図地区の民俗	3	91	昭和47年時フィールドワークまとめ 1)はじめに 2)衣・食・住 3)生産生業 4)交通交易通信 5)社会生活 6)信仰 7)人の一生 8)年中行事
	岡村良昭	『熊本商工会議所報』にみる戦後熊本商工会の展開	6	1	昭和20年代)戦後復興、産業振興に全力 昭和30年代)成長への助走 昭和40年代)景気は上昇、人手不足、流通革命進む 昭和50年代)流通戦争、百周年、テクノ推進
	岡村良昭	美しい江津湖へ戦後五十年の再生の歩み -市議会史・熊日等にみる環境整備の展開-	9	1	1)戦後、市議会初の江津湖論議は昭和二十二年 2)「今なら間に合う」キャンペーン 3)21世紀知的周遊ゾーンをめざして(ふるさと美化憲章) 江津湖関係略年表
	鎌田浩	慶喜を感服させた小楠とその思想	11	87	1)小楠の生涯と思想の発展 2)不変の信念
カ	川口恭子	小堀長順と「茗理正伝」	8	23	1)『茗理正伝』の内容 2)藩の御茶道方 3)御茶道としての長順 4)茶書と細川月翁

執筆者	表題	号数	頁	内容	
	川口恭子	史料紹介『登り・下り参勤道中日記』	12	115	島田美術館所蔵 御小姓組堀部次郎左衛門の寛延2・3年の道中日記(翻刻)
サ	坂楠和子	古代地方行政史料(一)	7	115	『続日本紀』を中心として (文武4年3月～天平19年正月)
	坂楠和子	古代地方行政史料(二)	9	57	『続日本紀』を中心として (天平19年5月～延暦10年6月)
	坂口至	熊本市の方言	9	79	1)熊本市方言研究史・熊本市方言の位置・調査の目的と方法 2)熊本市方言の伝統・音頭・文法・敬語法・語彙 3)熊本市方言の変容・伝統的方言の衰退・復活と新しい方言の形成 4)熊本市方言の歴史・過去の方言文献と熊本市方言・国語史(中央語史)と熊本市方言
	坂口勝彦	女性参政五〇年と総選挙	8	71	1)史上最多の女性立候補者 2)婦選獲得同盟の女性たち 3)マッカーサーの改革指令 4)初の女性代議士に山下女史 5)中選挙区制度導入のいきさつ 6)永田町の男女平等はいつ? 7)北欧先進国を参考に 8)民主主義の活性化のために
	坂本経昌	熊本市域の神森について	6	55	神森概要 熊本市域天神・神森一覧表
	佐藤伸二	近見町遺跡出土の遺物	4	119	1)はじめに 2)位置と立地 3)地層と遺物の出土状況 4)出土遺物 5)まとめ
	佐藤伸二	道城方・南新宮遺跡出土の遺物	5	105	1)はじめに 2)遺跡の位置と立地 3)地層と遺物の出土状況 4)出土遺物 5)まとめ
	佐藤伸二 金田一精	熊本平野西南部の陸化と開発過程について	6	25	1)はじめに 2)中世文書に見える地名とその比定地 3)中世的な地名の分布と海岸線 4)坪地名の分布と古代の海岸線 5)白川下流域の陸化と流路の変化 6)旧飽田郡西南部の遺跡 7)遺跡分布の特色 8)まとめ
	佐藤征子	池辺寺伝承の変容をめぐって	12	1	1)地誌記載の伝承 2)池辺寺縁起絵巻 3)伝承の変容 4)結びにかえて
シ	下津昌司	白川流量とその変遷	13	1	1)白川流域における雨水流出過程 2)水文資料に基づく流量変化の検討
	城後尚年	元禄肥後国絵図にみる枝村・新村	2	21	1)はじめに 2)変地改め 3)枝村・新田・新地(「御国絵図御改付而覚帳」による詳説) 4)おすび

執筆者	表題	号数	頁	内容	
白木原和美 岩崎充宏	神園山瓦窯址発掘調査概報	2	89	1)位置と立地 2)遺稿の調査 3)出土遺物 4)小結	
	真藤長生	3	45	1)はじめに 2)昭和二十年(終戦以降) 絶望的、だが前途に希望 3)昭和二十一年 ダンスホール相次ぎ開場 4)昭和二十二年 一戸一灯ローソク送電 5)昭和二十三年 “分譲住宅” 七坪~十五坪 6)昭和二十四年 県、パン作りの講習会	
	真藤長生	7	57	1)ポツダム宣言を知らなかった県民 2)乏しい紙面でもポツダムには注目 3)終戦前の紙面に「無条件降伏」の文字 4)情報不足が戦後の動揺を拡大 5)「黙殺」と原爆投下、ソ連参戦 6)米・ソともに戦後のアジアをねらう 7)ヒロシマ後、ソ連急いで参戦 8)挫折した日本の和平工作 9)ライシャワー博士の意見 10)最後の「もし…だったなら」	
ス	鈴木喬	『歳序雑話』 註解	4	97	肥後藩士山崎半彌の著書 江戸初期、熊本城下における武家社会の年中行事と風俗習慣 (読み下し文・補注あり)
	鈴木喬	熊本民謡「ポンポコニャー」と熊本名所地名考	5	63	熊本民謡 熊本城下の古民謡ポンポコニャ 固有名詞・歌詞考証
	鈴木喬	熊本民俗探求二編	12	61	1)昭和初期子供四季の遊び 2)「あんたがたどこさ」鞠突唄考
	鈴木喬	日記に見る時習館学生の日常生活	14	77	1)日記史料、上田初彦(久兵衛、休)日記 2)初彦の経歴 3)時習館の学生生活 4)時習館の教育課程 5)日記に見る世相と学生生活
セ	瀬戸致誠	史料紹介『遊学一卷帳』(一) (永青文庫)	5	121	幕末維新时期 肥後藩からの洋学関係遊学生についての諸書類 書抜(翻刻) 一覧表あり
	瀬戸致誠	史料紹介『遊学一卷帳』(二) (永青文庫)	6	155	(一)のつづき
タ	高森荘子	中世肥後国の「南郡」について	6	129	関係諸文書より「南郡」の示す地理的範囲・意味の考察
	田尻靖幹	『市史研究 くまもと』の創刊に寄せて	1	1	
チ	中世専門部 会	『熊本市史』史料編第二巻古 代・中世 補遺(中世史料)	10	107	『新熊本市史』史料編第二巻 古代・中世より 割愛史料や脱漏史料から選択 市域に関わる史料・「守富荘」関係史料・「南 郡」関係史料 同巻正誤表
ツ	堤克彦	(寄稿)小楠翁實歴	3	161	徳富一敬著述、熊本市立德富記念館蔵 3稿)小楠翁実歴 1稿)題名なし 2稿)小楠翁履歴 解説
ト	徳岡涼	生駒家所蔵・宗祇付句『北國 下向』について	13	159	細川幽斎筆及び連歌解説 (書誌・翻刻・初句索引)

執筆者	表題	号数	頁	内容	
徳岡涼	三宅家蔵仲光家旧蔵『新続古今和歌集』について	14	107	1)伝来 2)古筆切としての性質 3)『新続古今和歌集』としての位置 飛鳥井雅世自筆の一軸(書誌・翻刻)	
富田絃一	熊本市とその周辺の土偶出土遺跡について	1	53	1)はじめに 2)熊本市周辺の土偶出土遺跡 3)土偶出土遺跡の分布 4)遺跡の立地と環境 5)土偶出土遺跡の性格と特徴	
富田絃一	白川・坪井川流路と城下町の形成	7	1	1)白川流路・飽田託麻郡境への疑問 2)地誌や古地図にみられる流路・郡境の状況 3)これまでの研究 4)絵図による新考察 5)白川蛇行形成・大川・長六橋・城下町の形成・隈本城と惣構	
富田絃一	熊本の三河川と城下町の形成	11	1	1)前回概要 2)白川流路蛇行史料・資料の追加 3)井芹川の旧流路について 4)坪井川の旧流路について 5)慶長国絵図にみられる河川とその意味 6)慶長国絵図以降の改修とその意味 7)まとめにかえて	
富田絃一	吉田如雪日記『上京公私諸控』	12	137	慶応2年3月(翻刻) 解説)吉田家系図、経歴、日記中に登場する主要人物紹介	
ナ	永野光哉	『市史研究 くまもと』の創刊に際して	1	2	
	中村勝	肥後能楽の源流 -細川家入国のころ-	12	83	
ニ	西輝喜	消えた七島表(しちとうおもて)	8	91	1)栽培の歴史 2)川七島の栽培と収納 3)植七島、自然七島の栽培と収納 4)製織と販売 5)いちび(黄麻) 6)結び
ハ	花立三郎	第一回衆議院議員選挙と山田武甫	3	1	1)明治二十三年熊本県会議員半数改選 2)第一回衆議院議員選挙 ①山田武甫、熊本市長となるを好まず ②改進黨、国民党の選挙態勢 ③候補者の決定 ④激しい選挙運動 ⑤投票の結果
	花立三郎	嘉悦氏房 -熊本実学派の研究-	10	1	1)生い立ち 2)小楠塾 3)副使として薩藩へ 4)参予会議当時の状況 5)第一回長州征討・肥薩連合の策 6)水戸藩脱徒の動静等 7)第一次征長後 8)第二次征長に反対 9)肥後征討を鎮める 10)官途に就く 11)実学党政権に 12)広取学校開校 13)共立学舎創立 14)おすび

執筆者	表題	号数	頁	内容
浜田善利	金峰山の植物	4	19	1)江戸時代の記録 2)明治時代 3)大正時代 4)昭和時代(戦前) 5)昭和時代(戦後)-平成4年 6)金峰残の特殊な植物
浜田善利	熊本市の帰化植物	6	93	1)明治・大正期の記録 2)昭和前期(終戦まで)の記録 3)昭和後期(戦後)その1 4)昭和後期(戦後)その2 5)現在の記録 6)おわりに
林田巖	加勢川水系の「水害除」について	4	1	近世後期水理事業 1)水害の原因と被害の状況 2)水抜普請計画と見積もり 3)水抜普請 4)緑川・加勢川水理普請の再興
ヒ 平野敏也	『熊日』年頭社説に見る戦後	1	3	昭和20~64年の社説47編
フ 藤川治水	熊本映画常設館草創期 敷島(嶋)座・電気館・敷島 倶楽部	12	45	1)はじめに(電気館開館・開館日) 2)誤伝を生んだ三冊の文献(南国紅燈夜話・熊本夜話・虚彦映画譜50年) 3)再確認ともうひとつの謎(九州紙上の開館記事・敷島座という寄席・敷島倶楽部の焼失) 熊本の映画週報、熊本主要座の変遷表
ホ 堀浩太郎 本田秀人	「学制」下の小学校と熊本師 熊本城下町の研究-新町の町 家と町人-	2 3	73 135	在村有力者(蓮台寺村)の日記史料から 1)はじめに 2)新町の町屋と町役人(新町の町家、町奉行と町奉行所、町役人と町会所、惣月行事一覧) 2)商工業と町人(新町の商工業、商工業の保護) 3)町人と負担(役負担と寸志、諸入目銭の割賦、運用銀と御用金) 4)動きと社会(騒動と災害、街道と治安、上下
マ 前田信孝	郷備金の研究覚書~肥後の維 新と郷備金	8	43	1)郷備金の由来・会所官銭(手永別会所官銭一覽表) 2)藩政改革と郷備金 3)安岡県政と郷備金
前田信孝	続郷備金の研究覚書~明治期 熊本の近代化と郷備金	9	21	1)資本主義化と郷備金 3)町村財政と郷備金 3)郷備金返還請求運動 4)郡政と郷意識 5)町村基本財産造成と郷備金・飽託郡河内村を
牧野洋一	新聞記事に見る熊本空港の発 展	2	1	1)はしがき 2)民間空港の誘致 3)健軍の熊本空港 4)高遊原の新熊本空港 5)あとがき
松崎範子	近世熊本町の造酒屋	7	93	1)近世酒造業概要 2)造酒本手 3)熊本町の造酒屋(熊本の造酒屋名表、造酒屋の格式・勤役表) 4)松尾講 5)熊本の酒
松崎範子	熊本藩における旅人問屋の整 備と城下商人の商業経営につ いて	11	21	1)宝暦以前の旅人宿 2)旅人問屋の業務 3)旅人問屋の種類 4)旅人問屋と他国商人政策

執筆者	表題	号数	頁	内容	
松本寿三郎	近世前期における藩士の生活(一)	6	69	1)熊本堀部家の知行 2)堀部家の給与・扶持 3)堀部家における年中行事と季節の調え物	
松本寿三郎	近世前期における藩士の生活(二) -堀部家文書「於江戸諸勤方日記」-	13	41	江戸在府中の御小姓役の勤務実態(宝暦10年参勤帰国時行列人員構成表、寛延2年御供御小姓組、御供日別一覧) 「寛延二巳の卯月5日ヨリ 於江戸諸勤方日記」(翻刻)	
松本寿三郎	熊本市域の近世地主史料	14	23	質地移動に関する史料紹介 1)「文政元年 池田手永北島村御百姓共質地受返しらべ」 2)「文政13年 地方証文一卷 方近村庄屋藤七」 3)「田迎手永竹宮在神水村諸借物捨方」 4)「K家における土地経営」5点 5)「Y家における土地経営」4点	
松本健郎	富ノ尾古墳群の石人	3	33	1)石人・石馬の分布 2)熊本の石人・石馬 3)石人・石馬樹立の背景	
ミ	右山幸介	細川領に於ける林業政策について	1	25	近世林業実態・山林行政官、植林事業、苗仕立てと林産物
	水野公寿	熊本区・熊本市の人口について	4	57	人口変遷の実態・統計と詳説(明治初年～戦前) 1)はじめに 2)熊本区・市の人口 3)熊本市の人口増加 4)熊本市内の人口分布 付)熊本市周辺町村の人口
	水野公寿	1920年熊本市の住民構成	5	31	1)第一回国勢調査報告書を史料に 2)住民構成 3)職業構成 4)熊本市生産物(大正後期)
	水野公寿	東雲のストライキ考	10	43	1)はじめに(東雲節歌詞) 2)東雲節について 3)熊本の貸座敷(統計表、関連布達) 4)二本木遊郭の自由廃業運動 5)おわりに 付)熊本の廃娼運動
	水野公寿	明治十一年の大区会について	12	103	1)はじめに(熊本県民会) 2)大小区会要目 3)第七大区大区会 4)第八大区大区会
	水野公寿	明治期における熊本市の統治組織	13	97	1)はじめに 2)維新期の城下町統治 3)明治前期の統治組織 4)戸長役場の廃止と町務掛の設置 5)熊本市の成立と外勤層 6)統治組織の再編強化・町総代制 付)熊本市の都市としての性格
モ	森山恒雄	肥後加藤政権と重臣飯田角兵衛(一) -飯田家所蔵文書の紹介と解説-	5	1	1)飯田覚氏の飯田角兵衛文書 2)飯田角兵衛家系と関係史料 3)飯田角兵衛直景の政治的地位と知行高 4)加藤清正遺領相続の問題 5)加藤清正の武士心得書
	森山恒雄	瀬戸内水軍の様態と変容 -熊本市京塚村上文書の紹介-	14	1	戦国・近世初期の文書16通・瀬戸内水軍村上家に所蔵されたもの (翻刻・解説・一部写真あり)

執筆者	表題	号数	頁	内容
ヤ 安田宗生	熊本の妙見信仰	2	37	1)はじめに 2)文献に記載された妙見について 3)妙見信仰の様相 4)妙見の性格について 5)祭日と祭祀組織について 6)終わりに
安田宗生	コゼババから改良産婆へ - 明治期の新聞記事を中心として-	7	79	1)明治期における産婆の地位 2)間引きについで 3)産婆改良の動き 4)出産にかかわる民俗の変化
安田宗生	美当一調伝	10	91	1)美当一調の生涯 2)軍談師美当一調 3)美当一調から尾藤新也へ
柳田快明	肥後国国司関係記事稿(一)	1	171	8～11世紀
柳田快明	肥後国国司関係記事稿(二)	2	107	12～13世紀
柳田快明	肥後国国司関係記事稿(三)	3	117	14世紀
柳田快明	くまもとお城祭り「平成時習館～『新熊本市史』に学ぶふるさと熊本の歴史～」 南北朝期から戦国期の「隈本城」を考える	11	49	1)「茶臼山ト隈本之絵図」にみる隈本 2)隈本と飽田国府 3)南北朝期の隈本城 4)南北朝期の隈本城の位置 5)戦国期の熊本城 6)隈本の広がり
矢野知佐子	史料紹介(井出家文書)	1	195	熊本博物館蔵 天正年間史料(翻刻)・解説
山鹿延	熊本の気象・熊本地方気象台の観測資料からみた気候特性と気温変動について	5	53	1)平年値と階級別日数と風の統計資料からみた特徴 2)要素別の累年順位表・季節現象の統計資料からみた特徴
山鹿延	熊本市の気象(つづき)	6	189	1)熊本の季節毎の気象ごよみ 2)メッシュ気候値からみた気温と降水量の地域特性 3)隣接気象観測所における気候統計資料
山中進	明治二十二年熊本大地震の記録	7	41	1)概要 2)「地震報告」と「地震取調表」の記録 3)発生時刻 4)被害の実態 5)結び
ヨ 横山勝三 渡邊一徳	熊本市および周辺地域の地形・地質の概要と研究課題	2	53	1)はじめに(概要) 2)山地 3)火砕流台地 4)河成段丘 5)低地 6)地下物質 7)おわりに

執筆者	表題	号数	頁	内容
吉原亀久雄	“赤痢・疫痢の町”時代の熊本市	4	81	市保健医療史(太平洋戦争末期～昭和29年) 1)劇症疫痢の毒素研究 2)白川病院焼失 3)医療荒廃 4)症状 5)伝染病院の移転再建 6)隔離治療 7)市医師会対策三ヶ条 8)反撃 9)市議会 10)予防消毒 11)大水害後の応急対策 12)爆発的発生の抑止 13)予防対策新手 14)全国「赤痢予防週間」発足 15)結
吉原亀久雄	「熊本市救急統計」この四〇年	12	23	熊本市の救急業務の拡充・進展の推移 最初は交通事故が最多、40% 急病は定められた事故のみ 救急車が安全の信頼感で きびしい「不搬送」の状況も 応需体制の整備が進む 市民サイドの公平なサービス 昭和61年、出場1万件突破 救急隊配置を年々増強 「高規格救急車を導入」 救急救命士の対応で高度化 「高規格救急車」の特集組む 応急手当普及啓発運動も プレホスピタルケアの充実へ 急病出場の最多月は12月 インフルエンザで記録的増加 初期から一貫して搬送先状況も 40年を経て年間2万件突破
吉村滋	熊本県文化談話会の三十年	5	85	1)結成までの経緯 2)熊本県文化懇話会規約 3)市民会館、県立美術館の建設促進 4)県芸術祭と県文化懇話会賞 5)「熊本ほん祭り」と「小品美術展」 6)県芸術功労者と県民文芸賞 7)県文化協会の設立 8)芸術文化振興基金の設定 9)県芸術功労者と県民文芸賞 10)荒木精之文化賞の創設 11)文化庁芸術祭熊本講演開く 12)「国民文化祭・熊本」と「県民文化祭」 13)三浦新体制のスタート 14)三十周年迎え記念行事
吉村豊雄	細川重賢と宝暦の改革の評価をめぐって	11	67	1)宝暦の改革の不思議さ 2)細川重賢の人物像 3)宝暦改革の諸段階 4)宝暦の改革の評価